

「川崎市幸市民館・川崎市立幸図書館改修基本計画」について

1 施設の概要

概要

名称	川崎市幸市民館・川崎市立幸図書館
竣工	昭和55(1980)年(築44年)
場所	川崎市幸区戸手本町1丁目11番地2
敷地面積	6,397.38㎡
延床面積	6,092.74㎡
主要構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上3階地下1階建

配置図



出典：川崎市デジタル地形図 2500

フロア構成

階数	諸室等
2階	会議室、和室、実習室、料理室、児童室、体育室、音楽室、事務室、談話コーナー
1階	大ホール、大会議室、図書館、市民ギャラリー
地下1階	機械室

利用時間・休館日

項目	幸市民館	幸図書館
利用時間	9時～21時	平日9時半～19時 土日祝日9時半～17時
休館日	第3月曜日 (祝休日の場合は翌日) 年末年始	第3月曜日 (祝休日の場合は翌日) 年末年始・図書整理期間



2 市民意見の把握

(1) 聴取の方法

ア 地域団体へのヒアリング（実施時期 令和5（2023）年2～3月、団体数 10団体）

イ ワークショップ（実施時期 令和5（2023）年4～6月（計3回）、参加人数 25名）

	開催日	場所	検討テーマ	参加人数 (うち小中高生)
第1回	令和5(2023)年4月22日	幸市民館 第1会議室	幸市民館を見てみよう！	18名 (8名)
第2回	令和5(2023)年5月27日		ちょっと通いたくなる 秘訣ってなんだろう？	19名 (7名)
第3回	令和5(2023)年6月24日		新しくやりたいことと ルールを考えよう	20名 (10名)

(2) 把握した主な市民意見

- ・ 飲食できるスペースがほしい。
- ・ 館内が暗く開放感がない。
- ・ 中庭やエントランスが活用されていない。
- ・ トイレが暗い、洋式化してほしい。
- ・ どこでも本が読めるようにしてほしい。
- ・ 会話できるスペースがほしい。
- ・ 図書館が静かすぎて気軽に利用しづらい。
- ・ みんなで楽しく話せるスペースが欲しい。
- ・ 勉強できるスペースが欲しい。
- ・ 子どもが声を出してもいい図書館にしてほしい。



10歳代～70歳代の幅広い方が参加し、20歳代以下が半数を占めた。

3 改修の検討状況

(1) 改修の方向性

■ 施設の主な課題

- ・ 施設・設備の老朽化、特定天井、バリアフリー等への対策が必要
- ・ トイレに臭気の問題があることに加え、大部分が洋式化されていない。
- ・ 市民館について、実習室や料理室など利用率が低い諸室や定員以下の利用が多い諸室がある。
- ・ 図書館について、閲覧席が不足している。

■ 把握した主な市民意見

- ・ 明るく開放的な空間にしてほしい。
- ・ グループや個人で学習できるスペースがほしい。
- ・ 飲食できるスペースがほしい。
- ・ 会話が可能なスペースがほしい。
- ・ エントランスや中庭を有効利用してほしい。
- ・ 館内のどこでも本を読めるようにしてほしい。

～改修の方向性～

① 安全・安心で利用しやすい施設

- ・ 大ホールの特定天井対策や老朽化した設備の更新、浸水対策やバリアフリー対策を行うなど、安全・安心な施設とする。
- ・ トイレの快適化や、歩道に面した位置に出入口を移設するなど、利用しやすい施設とする。

② 明るく開放的な施設

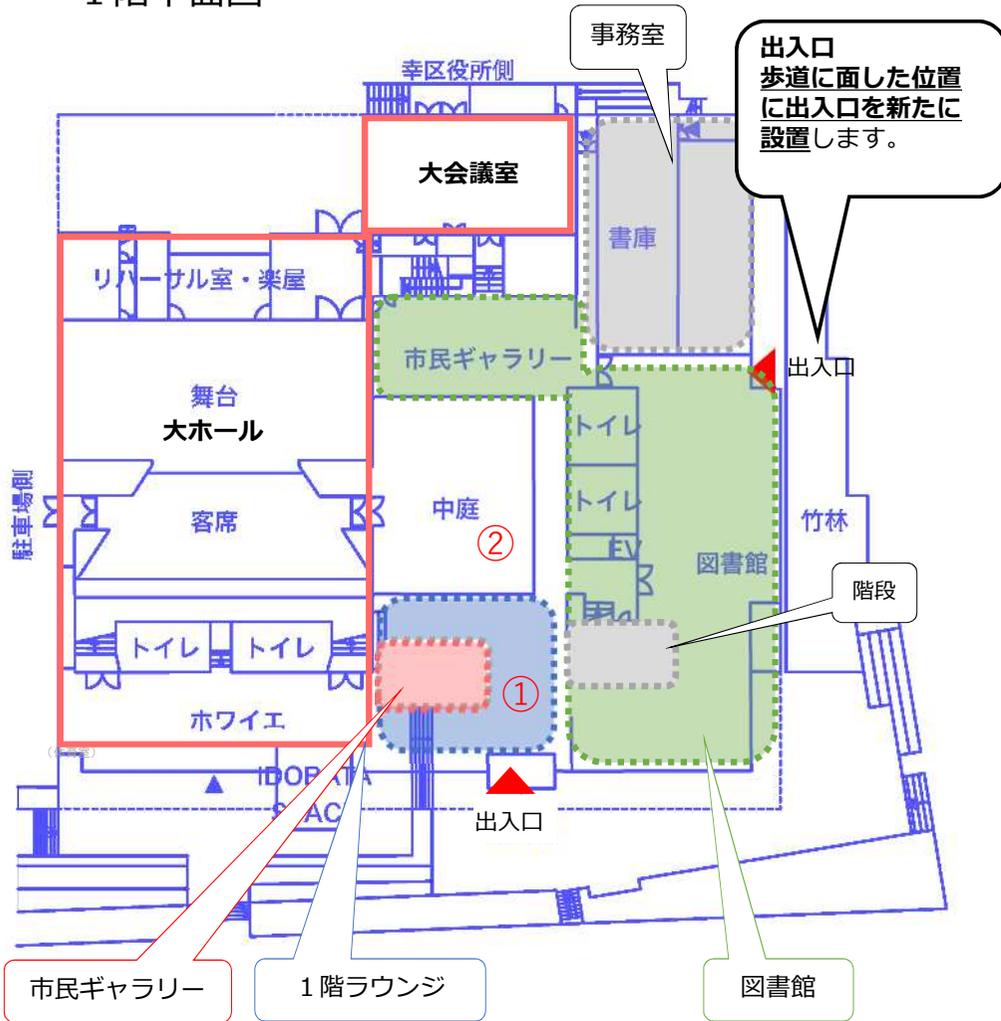
- ・ 開口部から中庭などの外部の光を取り入れる配置とするなど、明るく開放的な施設とする。

③ フレキシブルな利用ができる施設

- ・ 可動性間仕切りにより、諸室に可変性を持たせるとともに、2階に書架や座席を配置し、利用されていない諸室を閲覧スペース等として開放するなど、フレキシブルな利用ができる施設とする。
- ・ 中庭やエントランスホールにテーブルやベンチを配置し、本を読んだり会話や飲食など、利用者が自由に過ごせる施設とする。

(2) 諸室の配置計画

1階平面図



① エントランスホール

Before



After



・広い空間だが、有効活用がされておらず全体的に暗い。また、階段の位置が分かりにくい。

・出入口の目の前に新たにラウンジを配置し、**会話や飲食など自由に利用可能な明るく開かれた空間**とする。
・新たに設置する2階部分の図書館機能とつながりを持たせるため、**わかりやすい位置に階段の架け替え**を行う。

② 中庭

Before



After

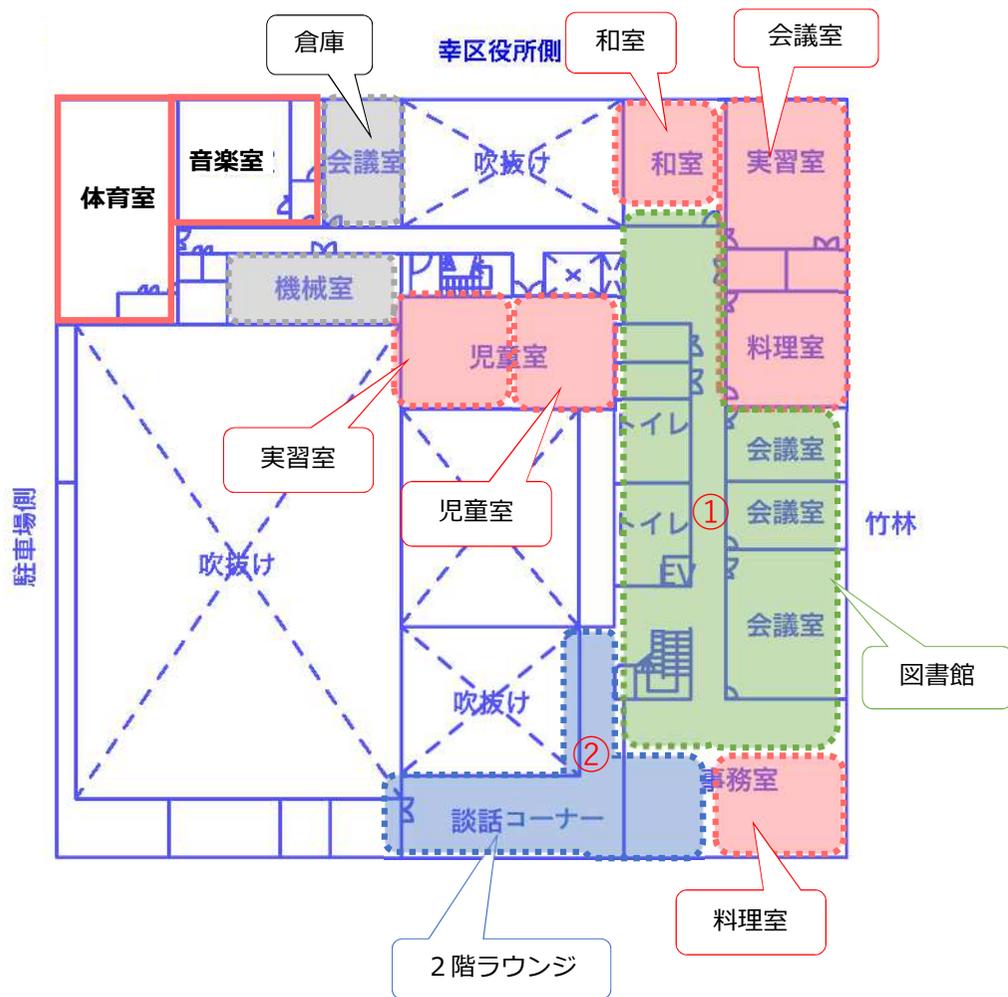


・広い空間だが、イベント時以外は利用されていない。

・テーブルやベンチの配置などにより、**外で休憩や読書ができる空間づくり**を行い、**有効活用**を図る。

※図面にある室名は、現況のものであり、吹き出しが新たな配置計画です。
なお、大ホール、大会議室、体育室、音楽室は現在の機能・規模を維持します。
諸室の配置計画は今後の検討により変更が生じる可能性があります。

2階平面図



凡例	
	市民館諸室
	図書館
	ラウンジ
	その他

① 2階廊下

Before



・暗く、壁に囲まれており閉鎖的な印象がある。

After



・2階にも書架や座席を配置し、利用されていない市民館諸室で読書や学習ができるようにする。
・静かな環境で読書ができるサイレントスペースを2階に配置する。

② 2階談話コーナー

Before



・静かで仕切りがないため会話がしにくい雰囲気であり、全体的に暗い。

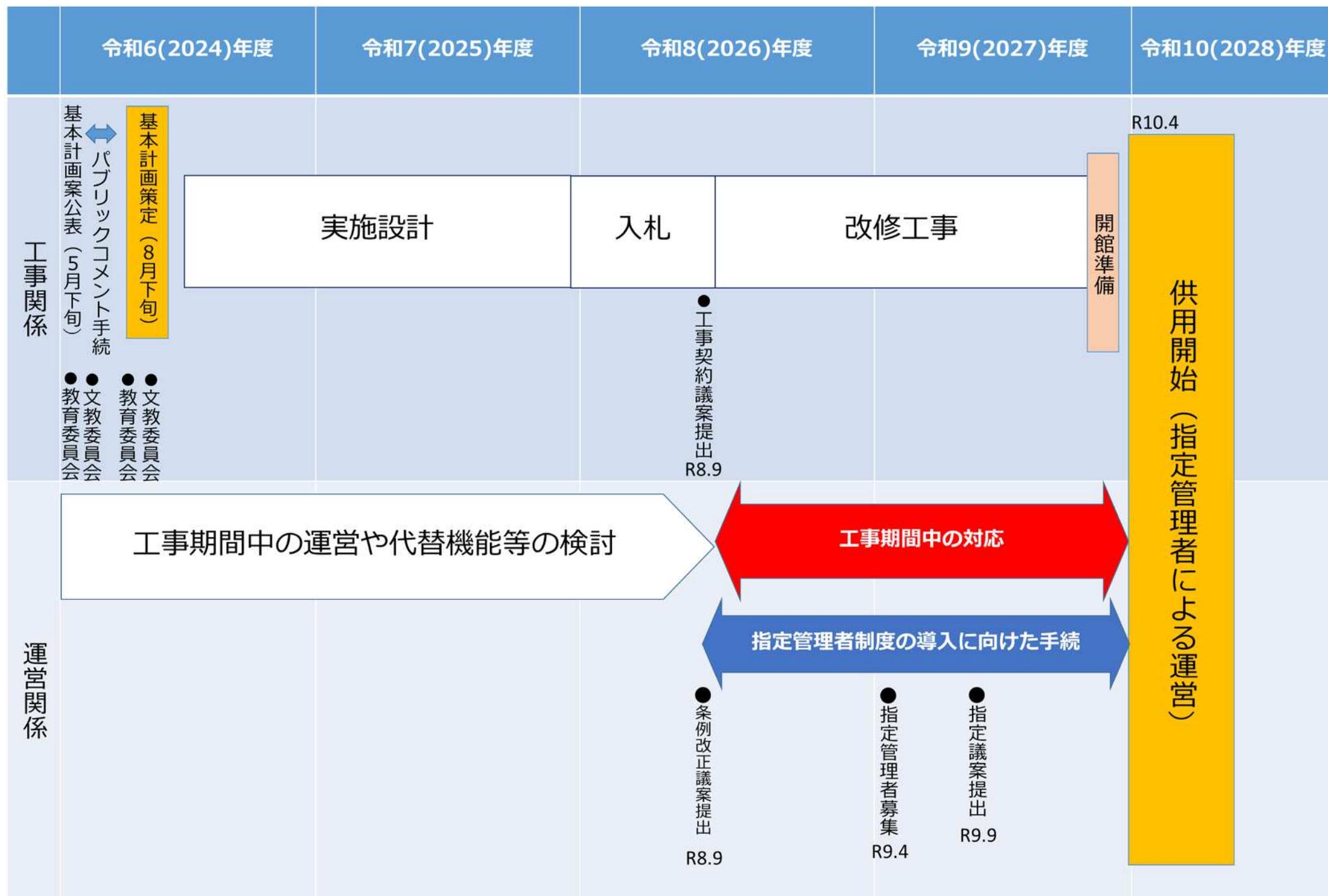
After



・ブースや椅子などを配置し、**学習や飲食など自由に利用が可能**な明るく利用しやすい空間とする。

※図面にある室名は、現況のものであり、吹き出しが新たな配置計画です。
なお、大ホール、大会議室、体育室、音楽室は現在の機能・規模を維持します。
諸室の配置計画は今後の検討により変更が生じる可能性があります。

4 今後のスケジュール



5 工事期間中の対応

工事期間中は館運営ができないことから、その間の対応について検討を行う。

(1) 市民館

- 代替施設の確保が困難であることから、ホール、会議室、体育室や音楽室などの教養室の貸館業務は休止
- 学級や講座等の社会教育振興事業は、区民の生涯学習機会を継続するため、区内の他施設やオンラインなどにより実施

(2) 図書館

- 他の図書館の利用を案内するとともに、現地周辺において、予約本の貸出、返却本の受取や利用者登録を実施

(3) 課題

- 図書資料（約15万冊）や備品（ピアノや卓球台等）の保管場所の確保が必要
- 利用団体や図書ボランティアの活動継続の支援が必要
- 職員の執務スペースの確保が必要